

報告ダイジェスト

- ・ 9月6日(土)～7日(日) プチ・バカンス in 鴨川に行ってきました！ (報告1)
- ・ 10月19日(日)第31回ぱれっと福祉バザー 開催 (報告2)
- ・ 福祉計画「直前学習会」-意見交換会に行こう- 開催 (報告3)
- ・ ソフトバンク「かざして募金」始めます！ (報告4)
- ・ 10月11日(土)サンシャインダンス、恵比寿文化祭で大活躍！ (報告5)
- ・ 渋谷区障害者保健福祉計画 ② (報告6)

報告1 プチ・バカンス in 鴨川に行ってきました！

9月6日～7日、第18回プチ・バカンスIN 鴨川を実施しました。今年も79名というお大人数で千葉県ちばけんの鴨川市かもがわにある、鴨川青年の家せいねんという施設しせつに宿泊しゅくはくしました。

●快晴の中、青年の家へ出発！！

予定通りよていどおりの時間じかんに恵比寿えびすを出発しゅつぱつ！バスの中では、初参加者はつさんかしゃがいるのでまず全員ぜんいんで自己紹介じこしょうかいをして、その後、クイズを出し合だったりレクリエーションレクリエーションをしたりして楽しみました。通り道たののアクアラインアクアラインや休憩場所きゅうけいばしょである海ほたるパーキングエリア海ほたるパーキングエリアから見た景色けいせきは、快晴かいせいということもあって絶景ぜっけいでした。

●鴨川青年の家到着！！

施設しせつに到着とうちやく後、青年の家せいねんの職員しよくいんさんからオリエンテーションオリエンテーションを受け、昼食ちゆうしょくを食べた後は、待ちに待った昼プログラムちゆうプログラム。遊覧船ゆうらんせん・ビーチ遊びあそび・創作活動そうさくかつどう・ウォークラリーウォークラリーの4つのコースコースに分かれて実施じしつしました。遊覧船ゆうらんせんコースでは、小湊こみなとの絶景ぜっけいを眺め、船から降りた後は足湯あしゆに入ったり散策さんさくをしました。ビーチ遊びあそびコースでは、ビーチの周辺しゅうへんを散策さんさくしたり、スポーツスポーツをしたり手作りのかき氷かき氷を食べ

ました。創作活動そうさくかつどうコースでは、勾玉作りまがたまつくりをしました。世界せかいに一つだけの様々な色さまざまいろ、形かたちの勾玉まがたまができました。ウォークラリーウォークラリーコースでは、参加メンバーさんかメンバー全員ぜんいんで協力きょうりやくして悪の帝王あくのていおう「コケシ」の指令しれいをクリアしていきゴールするといふ、今までにない新鮮しんせんなウォークラリーウォークラリーになりました。すべてのコースが、ここでしか味わえない貴重あじな体験きちょうたいけんになりました。



[ウォークラリークリア！！]

●夜プログラム キャンプファイヤー

昼プログラムちゆうプログラムが終わり、夕食ゆうしょくを食べたら、全員ぜんいんが楽しみにしていたキャンプファイヤーキャンプファイヤーの開始かいしです。まずは、皆みんなで協力きょうりやくして点火てんかの儀式ぎしきをして、それからキャンプファイヤーキャンプファイヤーが本格的に始まりました。定番ていばんのマイムマイムマイムマイムや、キャンプキャンプだホイだホイをぱれっと流りゅうにした「ぱれっ

とだホイ)、猛獣狩りゲームを行ないました。また、チーム対抗で、それぞれのチームの決めポーズをしていくゲームもやりました。そして最後は、実行委員からのサプライズ企画で、参加者一人ひとりに向けたメッセージをプレゼントしました。皆が、童心に戻り思いっきり楽しめたキャンプファイヤーになりました。



【ファイヤー点火!!】

●2日目マザー牧場へ!!

2日目は朝から小雨が降ってしまいましたが、マザー牧場へ出発。到着後に昼食を食べた後は、雨プログラムとして用意した「アイスクリーム作り」と「羊毛のぬいぐるみ作り」のうち好きな方を選んで実施することになりました。どちらのコースもすごく楽しそうに取り組んでいました。



【アイスクリーム作り】

名残惜しいですが、マザー牧場を後に

して恵比寿に戻る時間になりました。帰りは、毎年恒例のカラオケ大会で盛り上がり、無事に恵比寿に到着しました。

●プチ・バカンスを終えて

私が今回のプチ・バカンスの実行委員長を務めようと思ったのには、たまり場の人たちの存在があります。たまり場の皆は、とても温かく、そしてここに来た人はどんな人でも、絶対に受け入れる心の器の広さがあります。私が初めて参加した時、右も左も分からず不安でいた中、優しく接してくれ、すぐに私を仲間に入れてくれました。そんな、素晴らしい心を持った皆との関わりを重ねる中、私はこのたまり場が大好きになり、もっともっとたまり場に貢献したい、私の力でもっと活動を良いものにしたい、そう考えるようになり、一大イベントであるプチ・バカンスの実行委員長を務めようと思いました。

しかし、実際にやってみると、皆の意見をまとめることの厳しさ、自分の気持ちを周囲の人に分かるように伝える難しさに葛藤しました。さらに、イレギュラーな事態も発生し、混乱した時期もありました。そんな中でも、今回のプチ・バカンスを成功させることができたのは、実行委員の皆さん、そしてスタッフの左右木さんたちのご協力があったからです。本当にありがとうございました。

最後に、ぱれっと親の会の皆様をはじめ、多くの皆様より、プチ・バカンスを開催するにあたりご協力と寄付を頂きました。誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

(第18回プチ・バカンス実行委員長

岡野雄介)

報告2 第31回ぱれっと福祉バザー開催報告

去る10月19日(日)、恒例の第31回ぱれっと福祉バザーを渋谷区立長谷戸小学校体育館にて開催しました。当日は晴天に恵まれ、開場前にはなんと150人もの方々が並んで下さいました。今回は新たな企画「チャリティチケット抽選会」も開催、来場者数は559名となりました。

※売上げ金額:

(10月30日現在)

1,201,378円

●バザーについて

ぱれっと福祉バザーは、ぱれっと親の会主催で行なわれ、企業や個人の皆様のご支援や、ぱれっとに関わる全てのボランティアが集まる、年間最大のイベントです。私たちの大切な活動資金を得ることはもちろん、地域の皆様にぱれっとの活動を知って頂くことをねらいとして、31回の歴史を刻んでまいりました。今回目玉となったのは、新たな取り組み、「チャリティチケット抽選会」でした。地元の商店様などとの新たなつながりや、バザー商品の提供とは違った支援の形を作り出すことを狙いに開催しました。お客様に一枚300円の応募券を購入してもらい、当日会場にて抽選会を開くシステムで、商品には、恵比寿、広尾地域の飲食店、美容室、整体院、銭湯などから、無料サービス券や食事券を景品としてご提供頂きました。準備段階で、ぱれっとの活動紹介をしつつ、一軒ずつお店を回ってお願いをしたことで、私たちが目指す「地域に根ざした活動」へ向けて、確かな手応えを感じる事が出来ました。また、当選されたお客様にも大変喜んで頂いています。ご支援頂きました皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました。

(第31回ぱれっと福祉バザー実行委員会)

●当日の様子

今年のバザーは天候にも恵まれ、開場前からたくさんの方々が開場を待ち侘びて列を作っていて、オープン前から盛況が予想され、より一層心を引き締め、力が入りました。最終的に来場者は約560名を数え、又売り上げも120万円となりました。値付け大作戦は台風の影響で、一日前倒しで行ない、時間、人員の調整等で大変でしたが、当日はいつも通り熱気あふれるバザーとなりました。また、今年初めて「チャリティ・チケット抽選会」を開催しました。午後の抽選会は、ドキドキハラハラしながら結果を聞き、当たった人もはずれた人も大いに盛り上がり、あちらこちらで、笑いや残念無念の表情や拍手といった光景が見られ、来年もまた抽選会を行ないたいと、改めて思いました。値付けから販売まで、今年も延べ210名のボランティアさんに協力して頂き本当にありがとうございました。また商品や景品を提供して頂いた方々、地域や学校関係者の皆様、ご協力頂いたすべての方々に心より深く御礼申し上げます。今後も皆様のご支援を頂きながら、ご期待に添えるようなバザーを、親の会とぱれっと関係者一同、一致協力して続けて参りたいと思います。

(ぱれっと親の会会長 吉井民子)

第31回 ぱれっと福祉バザーへのご協力誠にありがとうございました！！

イベントコーナーも人気。



天候にも恵まれ、開場直前には
約150名ものお客様の行列が！



誰に当たるか！
緊張の瞬間！
チャリティチケット抽選会



開場直後から大盛況！

● 協賛企業・団体 ●

(* 順不同、敬称略) 全59社

おかし屋ぱれっとの
販売もがんばりました！

アトリエ・ヒロ
伊藤ハム株式会社
魚国鮭
株式会社大塚商会
OrB
オムロンヘルスケア株式会社
キューピー株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
京葉アドバンス物流株式会社
有限会社小池精米店
株式会社コーセー
国際ソロブチミスト東京一弥生
コネクシオ株式会社
さかえ湯
サッポロビール株式会社
サムスン電子ジャパン株式会社
株式会社J-オイルミルズ
株式会社志木サライティブシズィネセンター
シティグループ
シマダヤ株式会社
フィジック

宗教法人常光寺
西武信用金庫 恵比寿支店
財団法人全国青少年教化協議会
株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ
損保ジャパンちきゅうくらぶ
株式会社大京
株式会社大和証券グループ本社
立科白樺高原ユースホステル
中央労働金庫
テアトル・エコー
株式会社ディーエイチシー
株式会社ティ・ケイ・エス
株式会社東京木工所
株式会社東芝
株式会社ナイガイ
株式会社日産クリエイティブサービス
開発技術情報部
日本KFCホールディングス株式会社
日本中央競馬会ウインズ渋谷
株式会社日本モザイク

有限会社ハミツシュ
株式会社ハルモニア
富士ゼ`ックスインターフィールド`株式会社
富士ゼロックス首都圏株式会社
富士電機株式会社
Bloomberg L.P.
有限会社ホス・インタープラネット
マミフラワーデザインスクール
マルゼン
丸美屋食品工業株式会社
株式会社マンダム
水谷太洋オート株式会社
めぐたま食堂
モルガン・スタンレー・グループ
山崎歯科医院
ヤマト株式会社
理想科学工業株式会社
有限会社メイキング
ネットワンシステムズ株式会社
白雅堂

● 地域・個人・ボランティア・その他のご協力 ●

渋谷区立長谷戸小学校施設開放委員、関係者の皆様 ・ 近隣の町会の皆様 (掲示板掲載の許可)
商品を届けてくださいました皆様 (179) 人・ 値付け・当日・前日ボランティアの皆様 延べ (212) 人
その他バザー告知にご協力頂きました皆様：多数

報告3 渋谷の福祉を考える有志の会 第5回セミナー 福祉計画「直前学習会」-意見交換会に行こう- 開催

去る9月5日(金)、幡ヶ谷社会教育館にて、渋谷の福祉を考える有志の会第5回セミナー『福祉計画「直前学習会」-意見交換会に行こう-〜どう変える?渋谷の福祉〜』が開催されました。その模様を、就労支援新任職員の視点を交えてお伝えします。

●福祉計画「直前学習会」とは?

これは、渋谷区の障害者保健福祉計画、障害福祉計画策定のために開かれる意見交換会に参加することを想定して企画されました。その当日に活発な議論を交わし、有意義な意見をまとめられるよう、実際の意見交換会の形式にならって練習しようというのが今回の学習会の目的です。

意見交換会は福祉計画に要望を反映させる重要な機会ですが、参加者の中には伝えたい要望があっても、いきなり公の場に出て萎縮してしまう方もいらっしゃるかも知れません。このような場に参加するのが初めての私にとっても事前に本番の雰囲気を感じられるこの学習会は非常にありがたい機会でした。

●充実した議論…時間が足りない?!

この日集まったのは40名あまり。参加者がそれぞれ関心のある①仕事②子ども③サービス④暮らしⅠ⑤暮らしⅡの5組に分かれてグループディスカッションを行ないました。私は普段の職務から関連し関心の高い、仕事のグループに参加しました。

そこでは作業所と利用者本人との間のニーズのずれや、充分とは言えない工賃の事等、日頃感じていることについて

ご家族から率直な思いが語られ、共感の聲が聞かれました。それを受け、じゃあこんな制度があつたらいいかも知れないね、こんなことも実際できるけど試してみるのはどう?—と解決の糸口となるような意見交換がされました。これは支援の現場スタッフ、障がいのある方の職業あつせんを担っている方等様々な立場の人が混ざり合っていたからこそと思います。立場を越えざつくばらんに胸の内を話し耳を傾けられる場は中々ないとあつて、他のグループ同様およそ80分では話し足りない程でした。最後に各グループで出た意見を共有する形で模造紙にまとめ、全体を介しての意見交換も活発に行なわれました。

●セミナーに初参加して感じたこと

年月が過ぎると、事業所や利用者が抱える課題も変わってきます。課題に柔軟に対応し、その時々の利用者の現在を支援するためには、過去の姿にも目を向け、同時に未来への展望を持てることが重要と感じました。将来のその人の働き方、暮らし方、楽しみ方の可能性が見据えられるよう、道標となるような福祉計画が渋谷区に策定されることを祈つてやみません。

今回、実績データや数字からは見えてこない切実な生の声が聞かれ、一つ一つが胸に刺さりました。駆け出しの支援者の私にとって現場のニーズを吸い上げ、よりよい支援の形ついでご家族や利用者と一緒に悩み考えていくはじめての一步となりました。

(おかし屋ぱれつと/工房ぱれつと職員 玉井七恵)

報告4 ソフトバンク「かざして募金」始めます！

携帯電話「スマートフォン」の普及率は、現在6割に近づきつつあり、電話やメールだけではなく、私たちの暮らしをさらに便利にしてくれるような様々な仕組みが開



発されています。そんな中で今年3月、携帯会社大手のソフトバンクが、NPO、NGOへの新しい寄付のシステム「かざして募金」をスタートしました。これは、登録された団体のロゴや写真に、専用のアプリ(ソフト)をダウンロードした携帯をかざすと、自動的に団体のページにアクセス、たった二つのプロセスで、とても簡単に寄付ができるというシステムです。今まで寄付というと、郵便局や銀行での手続き、あるいはインターネットのカード決済など、その手順がとても面倒でした。しかしこの仕組みを使えば、思い立ったその場で気軽に寄付ができ、寄付金も毎月の携帯料金と一緒に精算できるという大きなメリットがあります。(ソフトバンク携帯のみ※)

私たちぱれっとも、11月中旬からこの「かざして募金」を本格的に導入します。ホームページをご覧ください、ぜひご参加ください。<http://www.npo-palette.or.jp>

※・・他社の携帯電話の場合は、手続きが異なります。詳しくはぱれっと事務局03-5766-7302までお気軽にお問い合わせ下さい。(事務局長 南山達郎)

報告5 サンシャインダンス、恵比寿文化祭で大活躍!

10月11日(土)、今年で4回目となる恵比寿文化祭が恵比寿ガーデンプレイスで開催され、今年も「ぱれっとサンシャインダンス」が出演しました。今年、ダンスパフォーマンスやワークショップを通じて障がいのあるなし関係なく一緒に楽しむ空間を提供する「ソーシャルワーカーズ(以下SW)」というダンスグループの皆さんと一緒にステージを創り上げました。当日のステージは、ダンスやフラメンコ、和太鼓、空手等々、バラエティー溢れる楽しいステージばかり。緊張しながら順番待ちしていると思いきや、リハーサル時からノリノリだったぱれっとのメンバー、本番前のステージ裏ですでに興奮して踊り始める人も。本番では、SWの迫力あるダンスやMCのおかげで皆のテンションも最高潮!ぱれっとの前に出演していた広尾高校ダンス部の皆さんも観客席で一緒に踊ってくれ、会場全体が一体となったの大盛り上がり!言葉では言い表せない程の熱気に包まれました。観客の方からも「楽しいステージをありがとう!」と言われ、皆、来年に向けてすでに張り切っています。

(たまり場ぱれっと 左右木 歩)



報告6 渋谷区障害者保健福祉計画 ②

今から2年前の2012年12月、渋谷区に自立支援協議会が発足しました。第2期に入り、新たに渋谷区障害者保健福祉計画策定のため、専門部会として福祉計画部会が設けられました。計画部会委員の諮問を受けた相馬から、先月号に引き続きその後の進捗状況をご報告いたします。

●アンケート実施

福祉計画に反映させるため、渋谷区内の福祉事業所並びに障がいのある方向けにアンケート調査を行ないました。就労継続支援事業所向けアンケートには、施設運営の状況やスタッフ体制、或いは施設側から見た区への要望等、優先的に福祉計画に乗せるべき課題が提示できるよう質問項目が設定されています。また、当事者向けアンケートでは、現在利用されているサービス頻度について、或いは生活上必要とされる資源や制度について質問されています。

回収したアンケート内容から個々のニーズ抽出を行ない、福祉計画に具体化させていく作業はかなりの時間と労力を要します。つまり、アンケート調査から実態に即した必要なサービス支援を可視化させるには分析力が求められるのです。いずれにしても個々の状況を把握し具体的な課題解決方法を見出していくには、新たに直接区民の声を聴く機会を設ける必要があります。

●意見交換会

今までの福祉計画策定において、区民の声を直接伺う機会が設けられてきて

います。しかし、一方的に個々の要望を聞く形での意見交換会の持ち方では、参加者にとって消化不良になり、意見を吸い上げるだけに留まってしまいます。その先の課題解決策まで掘り下げた議論を目指すために、グループワークでの意見交換会の手法を取りました。障がいの種別でグルーピングを行ない、ファシリテータを置いて、親や職員当事者同士が共通のテーマで話し合い、ニーズ把握を行なうなど、課題解決に向けた具体的な提案をまとめました。

実際に行なった意見交換会では、知的障がいの子を持つ親の年齢でもニーズが様々で、特に高齢期を迎えた本人や親にとっては切実な問題でもあり、グループホームの増設など、緊急を要する状況下にあることがうかがえました。

●顔の見える関係づくり

意見交換会の手法について、区の職員や福祉作業所スタッフと議論を重ねました。実際の意見交換会の場では、世代が違っても、共通の課題で話し合いが持てたことは、お互い顔の見える関係ができたということで大変評価できます。特に福祉現場スタッフと区の職員が情報交換できたことは、これからの渋谷区の福祉を考えていく上で、大きな収穫だったように感じます。

福祉計画が単なる数値目標とならないよう、優先課題を精査し、ニーズに即したサービス支援提供ができる実効性のある計画が立てられるよう検討に入っていきます。

(認定NPO法人ぱれっと理事長 相馬宏昭)